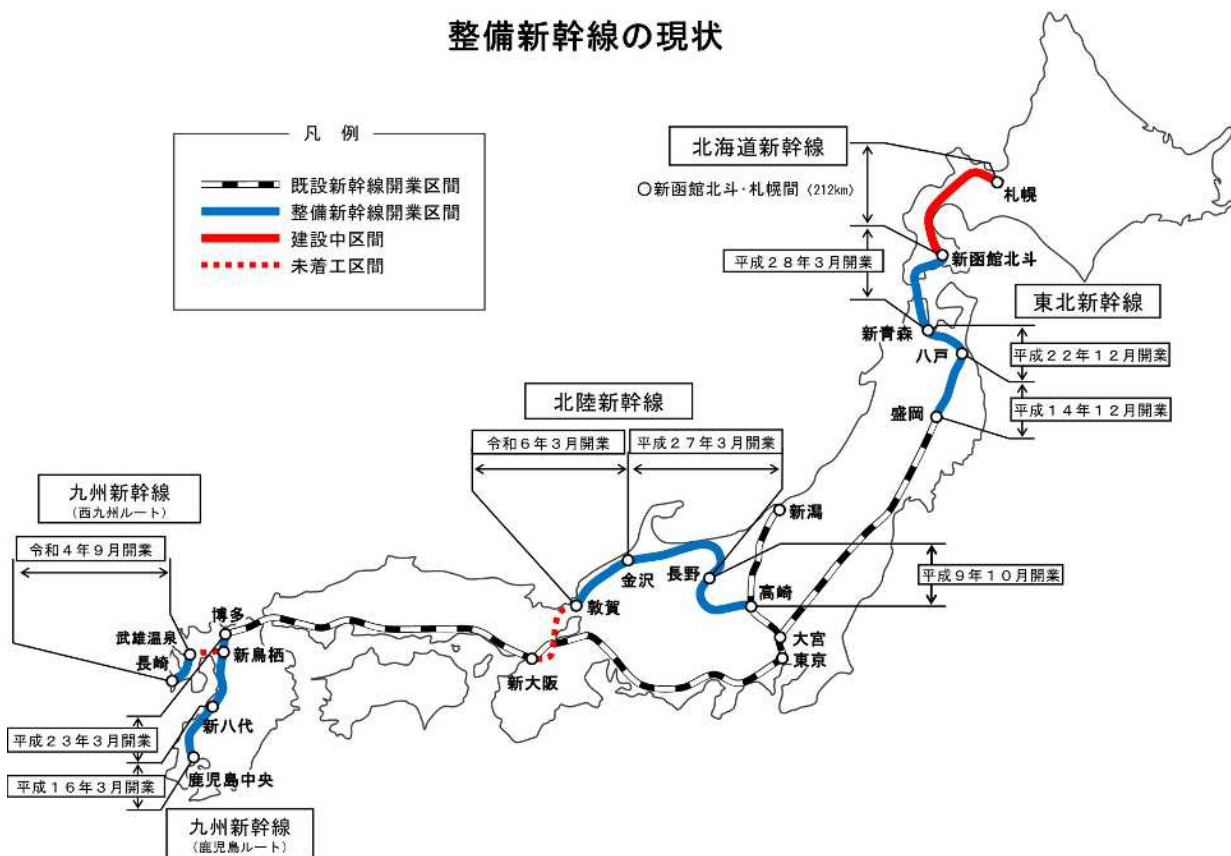


整備新幹線の整備

令和8年度予算案：事業費 348,900百万円 国費 80,372百万円
 (令和7年度予算：事業費 265,800百万円 国費 80,372百万円)

- 我が国の基幹的な高速輸送体系を形成する整備新幹線について、着実に整備を進める。

整備新幹線の現状



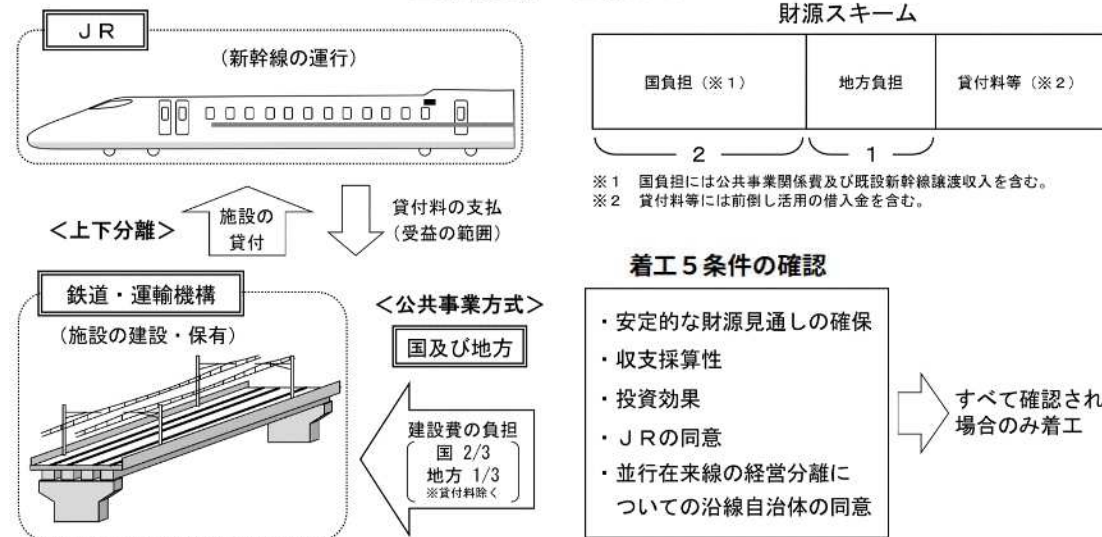
整備新幹線の建設推進・高度化等

北陸新幹線事業推進調査

令和8年度予算案：1,450百万円
 (令和7年度予算：1,450百万円)

- これまで先行的・集中的に行ってきた北陸新幹線の施工上の課題を解決するための調査の深度化を図るとともに、沿線地域の理解促進に向けた科学的知見に基づいた情報発信やそのための体制強化、いわゆる着工5条件の確認、環境影響評価手続に必要な調査等を行う。

整備新幹線の整備方式



青函供用走行区間における新幹線列車の高速走行調査・開発

令和8年度予算案：20百万円 令和7年度補正予算：80百万円
 (令和7年度予算：20百万円 令和6年度補正予算：80百万円)

- 新幹線列車と貨物列車とが共用走行する青函共用走行区間において、安全性を確保しつつ新幹線列車を高速走行させるため、時間帯区分方式の段階的拡大の可能性に係る調査・開発等を行う。

トンネル工事の施工性向上に資する研究開発

令和7年度補正予算：55百万円
 (令和6年度補正予算：53百万円)

- 整備新幹線のトンネル工事において、工程遅延リスクを低減し、工程短縮に向けた施工性向上に資する新技術の活用・普及のための研究開発を行う。

経済設計高度化調査

令和8年度予算案：133百万円
 (令和7年度予算：133百万円)

- 整備新幹線に関する経済効果や輸送量、今後の需要動向等の高度化調査を行う。

幹線鉄道ネットワーク等に関する調査

令和8年度予算案：189百万円の内数
 (令和7年度予算：189百万円の内数)

- 基本計画路線を含む幹線鉄道ネットワークについて、各地域の実情を踏まえ、方向性も含めた検討を行うため、幹線鉄道の高機能化に係る技術的課題の整理や基本計画路線に係るケーススタディ等を実施する。